

ぎょうだ

# 自治連だより

～親しみやすい自治会・そしてもっと身近な自治会～

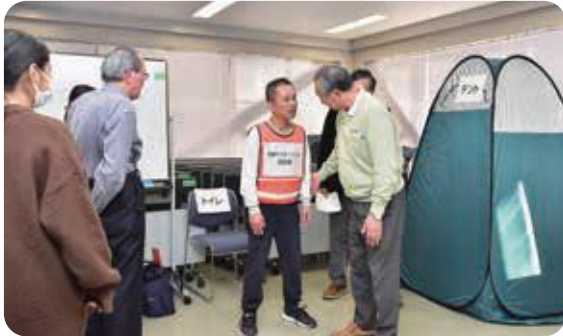
第97号

行田市自治会連合会  
広報部 会

編集・発行

認知症に関する学習会及びあんしん声かけ体験

防災部会長 長岡 幸雄



防災部会では、災害時における認知症の方への対応をテーマに「認知症に関する学習会及びあんしん声かけ体験」研修を行いました。

一昨年11月には、緑風苑等のご協力のもと、認知症の症状や対応方法について学ぶ機会を設けましたが、近年、災害時の支援において、認知症の方への配慮が新たな課題となっており、今回はその学びを実践に つなげる内容としました。研修には、緑風苑等の皆さまにご協力いただき、認知症の症状の理解に加え、安心感を与える声かけのポイントを学びました。その後、「避難所でトイレの場所がわからず困っている方がいる」など、実際の場面を想定したロールプレイをとおして声かけ体験を行い理解を深めました。



認知症への正しい理解と適切な対応が各地域でできるよう、各自治会においても認知症サポーター養成講座や今回のような声かけ体験を積極的に実施していただきたいと思います。



各地区での花いっぱい推進運動の取組み

たくさんのお花で地域を明るくすることを目的に実施している「花いっぱい推進運動」が、今年度も各地区で実施されました。公園や公民館など、様々な場所で色とりどりの花が植えられました。



行田地区の取組みの様子



太井地区の取組みの様子

**ようこそ行田へ**  
 ～外国からみた自治会～  
**第2回**

第2回では、行田市在住の外国人の方2名と、「行田にほんご教室」の代表をしている木下さんにインタビューを行いました。

地域でのイベントや防災訓練を実施する際に、誰もが安心して参加できるよう、伝え方を工夫するためのアイデアのひとつとなれば幸いです。



**ガヤーニさん(スリランカ出身)**  
来日して3年  
日本のカレーライスが好きです。



**ドゥミトウロさん(ウクライナ出身)**  
千葉で半年生活をした後、行田に引越してきてから2年が経ちます。



**木下さん**  
「行田にほんご教室」代表  
月に4回外国人の日本語学習を支援しています。

●日本の印象や母国との文化の違いで驚いたことは？

**ガ**：日本ではお礼を言う時にお辞儀をします。スリランカでは言葉で感謝はしますが、お辞儀はしません。あとは日本の料理はマイルドな味付けが多いのも印象的です。

**ド**：日本にはルールがたくさんあるのに、みんながきちんと守っていることに驚きました。

●ルールはどうやって覚えましたが？

**ド**：地域で頼れる人がまだいないので、ルールを覚えるのも少し大変です。周りの様子を見て、自分なりに少しずつ理解をして覚えていきます。あとは、受け取る手紙は全部日本語で書いてあるので、翻訳アプリで内容を確認し、わからないところは市役所に聞きに行きます。

**ガ**：私は、近所に優しいおばあさんがいて、いつも助けてくれます。市役所や自治会からの情報は、手紙であればわかりませんが、そうでない時はおばあさんから聞くこと



がほとんどです。今では一緒にお茶をする仲になっていて、お祭りなどのイベントがあるときも教えてくれます。

●地震や台風の避難についてはどうでしょうか？避難場所や防災訓練は知っていますか？

**ガ**：地震が来たら、外に出るようになっていますが、どこに避難すれば良いかまではわかりません。スリランカでは地震がないので怖い

です。地域で防災訓練をしていることも知りませんでした。

**ド**：ウクライナには地震も台風もないので、避難訓練自体が新しい体験になります。近くにある学校が避難所になっていることは、市役所で教えてもらいました。

●方法や内容は様々ですが、どの地域でも定期的に防災訓練をしています。外国人にも参加してもらえると、地域でのつながりは広がり、外国人とコミュニケーションを取るきっかけも増えますね。

**木**：外国人から声をかけるのは難しいので、日本人から積極的に声をかけてほしいですね。

●では私たちはどのような外国人とコミュニケーションを取るのが良いでしょうか？

**ガ**：日本語で話してもらいたいです。日本に住んでいるので、日本語を使わないといけない、と感じています。他の外国人も日本語を勉強していると思います。また、**カタカナ**や**ひらがな**なら読めま

す。チラシなどは簡単な日本語で、漢字にふりがながあるだけで理解しやすくなります。

ト：私は、日本語があまりうまく話せないで、自分が話す時は翻訳機を使います。話しかけてもらう時は、日本語を使います。ゆくり簡単な文章で話してもらえれば大体は理解できます。

木：普段外国人と話していて、地域のイベントに興味のある外国人は多いと感じます。でも、チラシの文章だけでは内容があまり理解できないこともあります。私たちは、外国人に地域のイベントの情報もできるだけこまめに共有するように心がけていますが、地域でも声をかけてくれる人がいたら良いです。

●地域に住む外国人へ、少しの配慮や声かけがあると、交流も増え、地域のつながりがより強くなると実感しました。ご協力いただきありがとうございます！



### やさしい日本語で 会話をしてみませんか？

行田市でも、約50か国の出身国・地域の外国人が生活しており、全ての母国語に対応することには限界があります。

しかし、埼玉県が行った調査によると、「ゆっくり、簡単な言葉で話せる」を含めて約9割の外国人の方が日本語で会話できると答えています。(埼玉県外国人住民意識調査より) 普段の日本語に少し工夫を加えるだけで、誰でも簡単に、外国人とコミュニケーションを取ることができます。

#### ＊やさしい日本語とは？

外国人やお年寄り、子どもなど、誰にとつてもわかりやすく伝えるための日本語です。「やさしい」には、言葉を簡単にする「易しい」と、相手に配慮する「優しい」の2つの意味が込められています。

#### ＊生まれた背景

1995年に阪神淡路大震災

が発生した際、緊急速報や避難指示、ライフラインなどの重要な情報を理解できずに多くの外国人が被害を受けました。これをきっかけとして、外国人に対して迅速に災害などの情報伝達ができるよう「やさしい日本語」が生まれました。

もともとは外国人向けの取組みとして始まったやさしい日本語ですが、次のポイントを意識するだけで、お年寄りや子ども、障がいのある方など、誰にとつても「やさしい」コミュニケーションができるようになります。

#### ＊やさしい

#### 日本語のポイント

- ゆっくり、はっきり話す
- 一文を短く、区切って話す
- やさしい漢字・ことばで話す
- 最後まではっきり言う

#### 【書くとき】

- 漢字にはふりがなを振る
- 写真やイラストを使う

行田にほんご教室HP



外国人のためのサポート窓口について



### 普通の日本語

高台に避難して

ご出身はどちら？

避難訓練をします

### やさしい日本語

高いところに逃げてください。

どこの国から来ましたか？

地震が来たときのための練習をします。

# 自治会長研修を開催しました



日時.. 令和8年1月24日(土)  
場所.. 商工センター401研修室  
参加.. 自治会長(126名)

1月24日(土)、商工センター401研修室において、自治会運営に関する課題や今後の方向性について理解を深めるための研修を開催したところ、126名の自治会長の参加がありました。研修では、合同会社フォーティール&Cより講師をお招きし、自治会の担い手不足解消をテーマに、これからの自治会運営に求められる考え方について講演が行われました。

用状況や課題に触れつつ、業務の効率化や負担軽減を図る視点、新たな担い手を呼び込む工夫、多様な団体と連携した運営による自治会活動の活性化など、今後に向けた方向性が示されました。

他市の事例や具体例を交えた説明により、各自治会長が自らの活動を見直すきっかけとなりました。

役員のなり手不足や高齢化への対応、運営方法の見直しの重要性について、自治会加入率が低下している背景や、社会環境の変化が自治会活動に与える影響を踏まえた説明がありました。また、デジタル技術の活



## 編集後記

日本に夢をいだき、やって来られた方々。分からない事だらけの中で、必死に頑張っという方々。インタビューさせて頂き、大変苦労されている事が良く分かりました。これからも、みなさんに暖かく接したり、お困りの時の手助けをしたりしたいと思います。今年、午年です。午年は「物事がスムーズに運ぶ」「活気にあふれる」縁起の良い年とされています。私たちも、万難を乗り越えなす勝ち馬になりましょう。

広報部会  
高島 茂夫

ぎょうだ自治連だよりの電子版はこちらから！

●自治会に関する情報を発信しています。

